JIL 常任委員会記録
2019 年 1 月 31 日（木）10：00～16：00
出　席：秋山，井谷，今村，岡田（Skype），岡本，笠原，河本
　　白杉，中尾，中西，平下，藤原，安原，和田
欠　席：佐藤
事務局：山本，香村，盛上，森，冨川（記録）

1. JIL のミッションについて
   - 一般の人にわかりやすいことばを使うのか、敢えて専門用語を使うのかは継続審議。
   - タイトル部分はどんな障害の人にもわかりやすい表現を使う。
     （例：連携→つながる）
   - 以下のグループが各々担当の項目をもって継続検討を行う。
     ① 中西、和田、川崎、平下（担当：⑥「当事者主権」、⑨「国際協力」）
     ② 河本、岡本、山本（担当：①「人権」、④「バリアフリー」）
     ③ 秋山、中尾、白杉（担当：⑫「地域格差をなくす」、⑬「多様性を認める社会を実現する」）
     ④ 笠原、今村、岡田（担当：③「介護保障，社会参加実現，ビジョンの二つ目」、⑤「インクルー市部社会，共生社会」）
     ⑤ 井谷、安原、藤原（担当：②「IL の価値」、0：「地域生活，脱施設」）

2. JIL の中期目標（2019・2020・2021 年）
   - 中期目標設置案として以下の項目が挙げられている。
     - 2020 年問題（介護保険統合）に対する取り組み
     - 女性 PT を継続していく
     - オリパラ，バリアフリーを世界基準に
     - 優性思想への対処（強制不妊手術，出生前診断，尊厳死，やまゆり園）
     - CIL 運営について（当事者が力をつけるための研修実施）
     - インクルーシブ教育（PT 設置？共生社会への取り組み）
     - 外国人労働者に対する意識
     - 加盟団体を増やしてく
     - JIL の運営方針を示す研修
     - 当事者主権の自立生活センターを世界に増やす
       （WIN の定着，推進。協力し合う仕組みづくり）
     - 能力主義により排除されている現状を見直す
     - 多様性を大事にする。JIL 内部の意識変革（知的/精神/LGBT）

- 世代交代を加速する。当事者運動の意識を共有する
- 介助者不足の解消。定着支援
- 権利条約に基づいた相談支援
- 知的精神の自立支援を加速し、重症心身障害児者の支援に取り組む
- 各市町村での 24 時間介護保障
- ピアカン, ILP を広める活動
- 人権意識を高めるための各センターでの取り組み（虐待対策）
- 地域格差をなくすことをJIL全体の課題として捉え、地方で活動するCIL へ情報提供＋交渉支援を行う
- 基本法，差別解消法，虐待防止法，総合支援法の見直し
- 法律をバージョンアップし、権利条約の完全実施を目指す
- JIL の年表をつくる。レジェンドインタビュー

3. 研修啓発委員会提案議題
   - グループワーク実施。委員長岡田氏がまとめて再度報告予定。

4. 若手育成事業提案
   - 単年度ではなく複数年度にて実施。
   - 若手メンバーへは川崎氏から呼びかけを行う。
   - インタビュー対象者やスケジュールについては 5 月常任委員会で決定。
   - 他の委員会や PT からの来年度予算希望をもとに、本企画についても予算を決定。

5. DPI との関係についての総会報告
   - 佐藤事務局長入院につき、具体的には話が進んでいない。しかし DPI 内部でも人件費の扱いについて検討が始まっている。